

# 現場の声聞き多様な働き方議論

和合館工学会（小野貴史代表

理事）は16日、東京都文京区の東京事務所内で地域建設業ダイバーシティフォーラムを開いた。「働き方改革とダイバーシティ経営」をテーマに、建設業界に対する働き方改革の適用に向けた人材確保の一環として、地域建設業の多様な従業員



あいさつする小野代表理事

## 地域建設業ダイバーシティフォーラム

による多様な働き方について討

議した。今回、特に女性に着目し、女性が働きやすい・入職しやすくするための方策を女性ならではの視点から切り込んだ。

冒頭、あいさつに立った小野代表理事は「実際の現場の状況や、女性から見ると建設業はどのように映っているのかを知ることが大切だ」とした上で、「現場の生の声を実際に聞いて、これからの働き方改革に向かって進んでいく。また、国や地域が乱れた時に出てくるのが多様性であり、女性の力が時代を動かしてきた歴史もあると感じている。建設業界が大きく変わるタ

ーニングポイントの昨今、皆さんからヒントをもらって先の時代に進んでいければと思っっている」と述べた。

フォーラムでは、大政建設の森山澄江代表取締役、常陽建設の飯田竹世代表取締役、中村建設の曾我部幸代取締役、清水建設NOVAREプロモーションユニットの白木綾美氏、かまた行政書士事務所の鎌田いずみ代表、写真家の山崎エリナ氏による講演、パネルディスカッションを実施した。

建設業界内外のそれぞれの立場から、地域建設業のダイバーシティ経営の取り組み状況と課題、建設業の女性活躍で必要な視点と配慮について議論を繰り広げた。

